



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月25日

上場会社名 ニッパツ(日本発条株式会社)
 コード番号 5991 URL <https://www.nhkspg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茅本 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部総務部長 (氏名) 野島 善一

TEL 045-786-7511

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	664,499	2.4	20,715	22.3	21,266	32.4	4,612	35.1
2019年3月期	681,006	3.2	26,650	25.0	31,457	13.6	7,104	65.3

(注) 包括利益 2020年3月期 2,019百万円 (11.2%) 2019年3月期 2,273百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	19.46		1.7	3.8	3.1
2019年3月期	29.97	28.85	2.5	5.5	3.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 983百万円 2019年3月期 1,103百万円

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	532,615	286,553	50.9	1,151.04
2019年3月期	573,198	296,061	49.0	1,185.77

(参考) 自己資本 2020年3月期 270,988百万円 2019年3月期 281,134百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	36,621	45,809	16,950	74,314
2019年3月期	36,794	42,299	7,327	98,403

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		12.00		12.00	24.00	5,690	80.1	2.0
2020年3月期		12.00		5.00	17.00	4,022	87.3	1.5
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当金額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	244,066,144 株	2019年3月期	244,066,144 株
期末自己株式数	2020年3月期	8,637,279 株	2019年3月期	6,975,024 株
期中平均株式数	2020年3月期	236,957,766 株	2019年3月期	237,091,403 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	300,149	4.0	6,974	32.6	10,155	50.3	6,807	
2019年3月期	312,799	6.4	10,351	17.0	20,453	0.6	6,516	52.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	28.73	
2019年3月期	27.49	26.46

(注)当会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	338,273	155,289	45.9	659.60
2019年3月期	383,211	175,318	45.7	739.46

(参考) 自己資本 2020年3月期 155,289百万円 2019年3月期 175,318百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]P3.「1.経営成績等の概況(2)次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 次期の見通し	3
(3) 財政状態に関する分析	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調で推移しました。また、世界経済につきましては、米国では個人消費の増加などから景気は回復が続いてきました。アジア地域においては、中国では景気は緩やかに減速し、タイやインドでは景気は弱い動きで推移しました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年3月以降の景気は世界的に厳しい状況にあります。

また、当社グループの主要な事業分野であります自動車関連市場においては、国内販売は、5,039千台で前期比4.2%の減少となりました。完成車輸出は、4,714千台で前期比2.5%の減少となりました。

以上のような経営環境のもと、売上高は664,499百万円（前期比2.4%減）、営業利益は20,715百万円（前期比22.3%減）、経常利益は21,266百万円（前期比32.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損失として減損損失4,687百万円、独占禁止法関連損失3,202百万円を計上したことから、4,612百万円（前期比35.1%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[懸架ばね事業]

懸架ばね事業は、売上高は126,332百万円（前期比2.0%減）、営業利益は米欧ほか地域における固定費増及び製品構成変化により、2,708百万円（前期比56.3%減）となりました。

[シート事業]

シート事業は、売上高は302,573百万円（前期比0.2%減）、営業利益は、受注車種構成の変化等により、6,960百万円（前期比56.9%増）となりました。

[精密部品事業]

精密部品事業は受注製品の数量減等により、売上高は142,982百万円（前期比6.5%減）、営業利益は6,243百万円（前期比36.2%減）となりました。

[産業機器ほか事業]

産業機器ほか事業は、半導体プロセス部品の数量減により売上高は92,611百万円（前期比3.5%減）、営業利益は4,802百万円（前期比22.9%減）となりました。

(2) 次期の見通し

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれます。また、世界経済は、当面、感染症の影響が続くと見込まれ、景気がさらに下振れするリスクがあります。

上記のような先行き不透明な環境のもと、2020年度は、2017年度を起点とした中期経営計画の最終年度となります。2019年度の業績は、売上高6,644億円、営業利益207億円、経常利益212億円、親会社株主に帰属する当期純利益46億円と、中期経営計画で掲げた目標値から大きく乖離しており、2020年度につきましても目標値の達成は厳しい状況と認識しております。

2020年度は、こうした状況を踏まえ、「飛躍に向けて基盤をつくる年にしよう」というスローガンのもと、「1. 「真直ぐ」な姿勢の堅持、2. 収益力の向上、3. 収益につながる新たな技術、商品の開発、4. ものづくり力強化のスピードアップ、5. 安心・安全な会社、働きがいのある働きやすい職場づくり」をグループ経営方針として掲げ、かかる難局に取り組んでまいります。

当社は全てのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、企業倫理の重要性を認識し、コーポレートガバナンスの充実、及び法令順守の徹底に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 財政状態に関する分析

① 当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金や投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ40,583百万円減少し、532,615百万円となりました。

負債については、転換社債型新株予約権付社債を償還したこと等により、前連結会計年度末に比べ31,075百万円減少し、246,061百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ9,507百万円減少し、286,553百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,794	36,621	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,299	△45,809	△3,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,327	△16,950	△24,278
換算差額	932	993	60
現金及び現金同等物の増減額	2,755	△25,145	△27,901
現金及び現金同等物期首残高	95,007	98,403	3,396
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	640	844	204
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	212	212
現金及び現金同等物期末残高	98,403	74,314	△24,088
有利子負債期末残高	68,215	57,591	△10,623

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は74,314百万円で前期比24.5%の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、36,621百万円で前期と比べ173百万円の減少となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の減少により法人税等の支払額が減少した一方で、仕入債務が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、45,809百万円で前期と比べ3,510百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、16,950百万円で前期と比べ24,278百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の返済及び転換社債型新株予約権付社債の償還によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差し引いたフリー・キャッシュ・フローは△9,188百万円となりました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べ24,088百万円減少し、74,314百万円となりました。また、有利子負債は前期末に比べて10,623百万円減少し、57,591百万円となりました。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	50.8	52.0	51.5	49.0	50.9
時価ベースの 自己資本比率(%)	51.7	54.2	46.9	41.1	31.3
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	1.3	1.0	1.1	1.8	1.5
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	137.4	310.0	142.6	128.5	121.1

※ 自己資本比率：（純資産－新株予約権－非支配株主持分）／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,573	74,593
受取手形及び売掛金	139,689	134,315
商品及び製品	19,959	20,236
仕掛品	9,888	9,412
原材料及び貯蔵品	18,785	18,016
部分品	6,058	7,119
その他	25,417	20,865
貸倒引当金	△117	△136
流動資産合計	318,254	284,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	148,399	153,589
減価償却累計額	△95,447	△97,106
建物及び構築物（純額）	52,952	56,483
機械装置及び運搬具	249,525	261,246
減価償却累計額	△196,022	△200,100
機械装置及び運搬具（純額）	53,502	61,146
土地	31,006	31,149
リース資産	1,373	1,427
減価償却累計額	△714	△753
リース資産（純額）	658	674
建設仮勘定	25,088	19,943
その他	73,319	77,904
減価償却累計額	△63,689	△66,997
その他（純額）	9,630	10,906
有形固定資産合計	172,839	180,302
無形固定資産		
投資その他の資産	2,902	3,187
投資有価証券	55,214	42,853
長期貸付金	3,995	2,760
繰延税金資産	8,161	9,081
退職給付に係る資産	4,669	1,941
その他	7,936	9,117
貸倒引当金	△775	△1,052
投資その他の資産合計	79,201	64,701
固定資産合計	254,944	248,192
資産合計	573,198	532,615

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,003	78,999
電子記録債務	43,301	37,880
短期借入金	18,418	20,363
未払法人税等	2,933	3,038
役員賞与引当金	269	236
設備関係支払手形	7,308	3,380
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	11,099	—
その他	43,899	35,000
流動負債合計	211,234	178,899
固定負債		
長期借入金	32,697	33,228
リース債務	537	547
繰延税金負債	7,356	3,811
退職給付に係る負債	19,394	23,190
役員退職慰労引当金	586	615
執行役員退職慰労引当金	779	875
その他	4,550	4,893
固定負債合計	65,902	67,162
負債合計	277,137	246,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	19,579	19,579
利益剰余金	228,016	227,062
自己株式	△7,517	△8,868
株主資本合計	257,087	254,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,349	14,642
為替換算調整勘定	5,625	8,117
退職給付に係る調整累計額	△2,927	△6,555
その他の包括利益累計額合計	24,047	16,205
非支配株主持分	14,926	15,565
純資産合計	296,061	286,553
負債純資産合計	573,198	532,615

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	681,006	664,499
売上原価	608,053	596,787
売上総利益	72,953	67,712
販売費及び一般管理費	46,302	46,996
営業利益	26,650	20,715
営業外収益		
受取利息	1,011	870
受取配当金	1,553	1,851
持分法による投資利益	1,103	983
不動産賃貸料	626	618
為替差益	961	—
その他	1,565	1,998
営業外収益合計	6,821	6,323
営業外費用		
支払利息	296	303
為替差損	—	3,866
その他	1,718	1,602
営業外費用合計	2,014	5,772
経常利益	31,457	21,266
特別利益		
固定資産売却益	1,400	—
特別利益合計	1,400	—
特別損失		
減損損失	11,525	4,687
投資有価証券評価損	449	467
関係会社株式評価損	611	694
独占禁止法関連損失	155	3,202
特別損失合計	12,740	9,052
税金等調整前当期純利益	20,116	12,213
法人税、住民税及び事業税	10,287	6,258
法人税等調整額	1,033	87
法人税等合計	11,320	6,345
当期純利益	8,796	5,868
非支配株主に帰属する当期純利益	1,691	1,256
親会社株主に帰属する当期純利益	7,104	4,612

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
当期純利益	8,796	5,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,610	△6,733
為替換算調整勘定	△2,072	2,954
退職給付に係る調整額	△2,212	△3,719
持分法適用会社に対する持分相当額	△174	△388
その他の包括利益合計	△11,069	△7,887
包括利益	△2,273	△2,019
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△3,604	△3,229
非支配株主に係る包括利益	1,331	1,210

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,009	19,579	229,163	△7,516	258,235
当期変動額					
剰余金の配当			△5,690		△5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,104		7,104
連結範囲の変動			△2,561		△2,561
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	0	△1,147	△0	△1,147
当期末残高	17,009	19,579	228,016	△7,517	257,087

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	27,935	7,355	△688	34,601	14,811	307,648
当期変動額						
剰余金の配当						△5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,104
連結範囲の変動						△2,561
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						—
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△6,585	△1,730	△2,239	△10,554	115	△10,439
当期変動額合計	△6,585	△1,730	△2,239	△10,554	115	△11,587
当期末残高	21,349	5,625	△2,927	24,047	14,926	296,061

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,009	19,579	228,016	△7,517	257,087
当期変動額					
剰余金の配当			△5,690		△5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,612		4,612
連結範囲の変動			123		123
自己株式の取得				△1,350	△1,350
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	0	△954	△1,350	△2,304
当期末残高	17,009	19,579	227,062	△8,868	254,782

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	21,349	5,625	△2,927	24,047	14,926	296,061
当期変動額						
剰余金の配当						△5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,612
連結範囲の変動						123
自己株式の取得						△1,350
自己株式の処分						0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△6,706	2,492	△3,627	△7,841	638	△7,202
当期変動額合計	△6,706	2,492	△3,627	△7,841	638	△9,507
当期末残高	14,642	8,117	△6,555	16,205	15,565	286,553

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	20,116	12,213
減価償却費	25,001	26,408
減損損失	11,525	4,687
退職給付に係る資産負債の増減額	△568	507
受取利息及び受取配当金	△2,564	△2,722
支払利息	296	303
為替差損益(△は益)	△990	3,135
持分法による投資損益(△は益)	△1,103	△983
有形固定資産除売却損益(△は益)	△1,169	44
売上債権の増減額(△は増加)	6,675	8,980
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,416	348
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,713	△13,604
その他	128	819
小計	48,217	40,139
利息及び配当金の受取額	2,584	3,206
利息の支払額	△286	△302
法人税等の支払額	△13,720	△6,421
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,794	36,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	71	△95
有形固定資産の取得による支出	△36,995	△46,691
有形固定資産の売却による収入	1,645	1,392
無形固定資産の取得による支出	△584	△727
投資有価証券の取得による支出	△4,849	△21
投資有価証券の売却による収入	0	22
貸付けによる支出	△2,086	△450
貸付金の回収による収入	620	596
その他	△120	166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,299	△45,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,111	1,317
短期借入金の返済による支出	△2,625	△149
長期借入れによる収入	25,000	18,600
長期借入金の返済による支出	△10,972	△16,133
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	20,000	28,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△18,000	△30,000
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	—	△10,646
自己株式の取得による支出	△0	△1,350
リース債務の返済による支出	△280	△327
配当金の支払額	△5,690	△5,690
非支配株主への配当金の支払額	△1,214	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,327	△16,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	932	993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,755	△25,145
現金及び現金同等物の期首残高	95,007	98,403
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	640	844
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	212
現金及び現金同等物の期末残高	98,403	74,314

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲

連結子会社の数 39社

当社の非連結子会社でありましたニッパツ水島株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用

持分法適用の非連結子会社数 4社

持分法適用の関連会社数 5社

なお、上記の事項以外は、最近の有価証券報告書（2019年6月27日提出）における記載から変更がないため開示を省略します。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

一部の海外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を当連結会計年度から適用しております。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則として全てのリースについて資産及び負債を認識しています。なお、当該会計基準の適用による連結財務諸表への影響は軽微であります。

（追加情報）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社生産本部を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「懸架ばね」、「シート」、「精密部品」及び「産業機器ほか」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品は次のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
懸架ばね	コイルばね、スタビライザ、板ばね、トーションバー、スタビライザリンク、ベローズ、スタビリンカーほか
シート	自動車用シート、シート用機構部品、内装品ほか
精密部品	HDD用サスペンション、HDD用機構部品、線ばね、薄板ばね、モーターコア、液晶・半導体検査用プローブユニット、ファスナー（ねじ）、精密加工品ほか
産業機器ほか	半導体プロセス部品、セラミック製品、ばね機構品、配管支持装置、駐車装置、ポリウレタン製品、金属基板、セキュリティ製品、照明器具、ゴルフシャフトほか

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

I 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	128,880	303,242	152,958	95,925	681,006	—	681,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,778	122	1,862	9,919	13,682	△13,682	—
計	130,658	303,364	154,820	105,844	694,688	△13,682	681,006
セグメント利益(営業利益)	6,193	4,435	9,791	6,229	26,650	—	26,650
セグメント資産	108,428	125,427	121,173	87,129	442,157	131,040	573,198
その他の項目							
減価償却費	5,402	6,044	9,302	2,655	23,404	1,596	25,001
持分法適用会社への投資額	2,145	2,273	2,763	227	7,409	—	7,409
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,547	6,544	14,841	8,816	42,749	2,225	44,975

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額131,040百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (2) 減価償却費は本社建物等の償却額であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,225百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

懸架ばね事業の資産について減損損失9,329百万円を計上しております。

シート事業の資産について減損損失842百万円を計上しております。

精密部品事業の資産について減損損失1,277百万円を計上しております。

また、全社資産に含まれる遊休資産について減損損失76百万円を計上しております。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	126,332	302,573	142,982	92,611	664,499	-	664,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,668	355	1,814	10,128	13,966	△13,966	-
計	128,001	302,928	144,796	102,739	678,466	△13,966	664,499
セグメント利益（営業利益）	2,708	6,960	6,243	4,802	20,715	-	20,715
セグメント資産	98,976	109,669	119,408	82,943	410,997	121,617	532,615
その他の項目							
減価償却費	6,214	5,402	9,897	3,122	24,636	1,771	26,408
持分法適用会社への投資額	1,978	2,677	1,580	1,109	7,345	-	7,345
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,156	5,570	14,462	2,952	38,142	1,708	39,850

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額121,617百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (2) 減価償却費は本社建物等の償却額であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,708百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

懸架ばね事業の資産について減損損失3,734百万円を計上しております。

シート事業の資産について減損損失931百万円を計上しております。

産業機器ほか事業の資産について減損損失20百万円を計上しております。

(参考情報)

所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米欧ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	403,265	168,992	108,748	681,006	—	681,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,696	3,057	835	37,590	△37,590	—
計	436,962	172,050	109,583	718,596	△37,590	681,006
営業利益は営業損失(△)	19,562	11,362	△4,274	26,650	—	26,650
資産	453,512	134,826	67,076	655,416	△82,217	573,198

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(2) 米欧ほか・・・アメリカ・メキシコ・オランダ・ハンガリー

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米欧ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	391,390	163,951	109,158	664,499	—	664,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,398	2,760	707	31,866	△31,866	—
計	419,789	166,711	109,865	696,366	△31,866	664,499
営業利益は営業損失(△)	15,816	9,048	△4,148	20,715	—	20,715
資産	403,350	142,558	67,986	613,895	△81,279	532,615

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(2) 米欧ほか・・・アメリカ・メキシコ・オランダ・ハンガリー

（1株当たり情報）

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,185.77円	1,151.04円
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(百万円)	296,061	286,553
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	14,926	15,565
(うち非支配株主持分)	(14,926)	(15,565)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	281,134	270,988
普通株式の発行済株式数(千株)	244,066	244,066
普通株式の自己株式数(千株)	6,975	8,637
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	237,091	235,428

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	29.97円	19.46円
(算定上の基礎)		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,104	4,612
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(百万円)	7,104	4,612
普通株式の期中平均株式数(千株)	237,091	236,957
(3) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	28.85円	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	9,174	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式で、前連結会計年度末から重要な変動があ ったものの概要	—	—

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。